

# 日常は喜びのカラージュ!

## トルコでの10ヶ月

期間(2024/09 - 2025/07)  
留学先: アンカラ大学  
法文学部4年 小畠香南子

### 1.トルコについて

#### トルコ共和国 *Türkiye Cumhuriyeti*

首都: アンカラ (下の地図の赤で塗った部分)

言語: トルコ語

宗教: イスラム教 (逊ニ派、アレヴィー派)

よくイスタンブルが首都だと思われているが、それを題材にした歌もあるので聴いてみてほしい。

曲名: Istanbul (Not Constantinople)



### 3.わたしの1にち



#### 1.語学学校の先生と友達

授業中、**爆睡**していた私に先生は **Pamuk prenses** (白雪姫)とあだ名をつけ、1年間先生とクラスメイトから呼ばれていた愉快な時間。

テストがよくできた時に褒められることももちろん嬉しかったが、できなかった時に

「また次頑張ればいい」

「半分できているなら大丈夫」と、完璧主義をぶち壊す言葉をもらった。

**人生は何度でもやり直せる** ものかもしかないと感じ始めた瞬間だった。



#### 2.寮の友達

最初は英語だったが、最終的にトルコ語で話すようになった

私が絶望の中にあったとき、友達が

『理想を高く持たず、

**小さなことで幸せを感じること**

『落ち込んだ時こそ幸せになりたい

と強く願うこと』

を教えてくれた。

「花が咲いている。よかった！」

「星が輝いている。よかった！」

と、実践して私の長い絶望はいつしか消えていった。友達と喜びも悲しみも分け合った思い出は今もなお、私の中で輝いている。



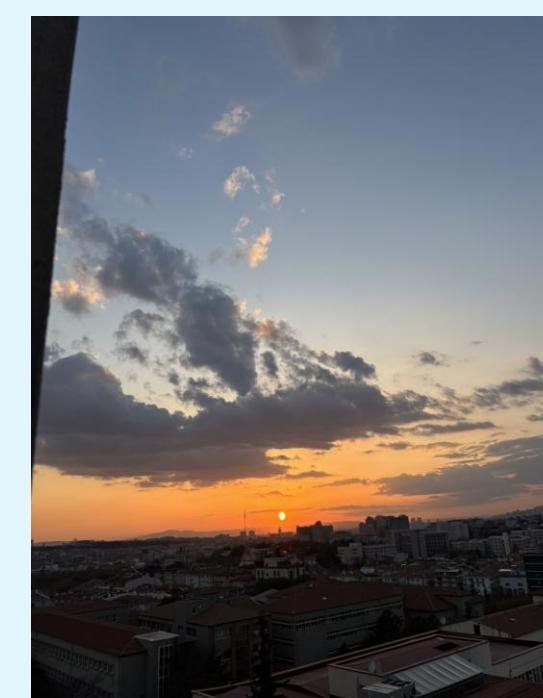
#### 3.考え方方が変わったこと

いろんな人と関わっていくうちに、自分の気持ちを伝えることにうしろめたさがなくなり、トラブルがあっても逃げずに話し合えるようになった。

**言わないと伝わらない。**

**自分を大切にできなければ自分の感情も大切にできない。**

誰が何と言おうと私はこう感じるのだと胸を張って言えるようになったことは大きな成長と喜びであった。



### 5.留学してわかったこと

留学したら性格が180°変わって、もっと素敵な性格になれるかもしれないと考えていた。しかし、**どこに行っても私は私** だった。ずっと私のままだった。

その私を応援してくれる人と出会えたことは、将来何十年も続く人生の旅においての **光** そのものだった。

今、私に与えられているものは何か、どのように考えたら幸せになれるかを意識するようになった。

苦しいこと、悲しいこともたくさんあるけれど、それは喜びをよりいっそう輝かせるものに変わると今の私なら知っている。

苦しい時こそ、光を、自分を思い出して

**喜びのカラージュ**

を作りたい！